

平成 29 年度北海道原子力防災訓練の実施結果について

1. 訓練日時

- ① 意思決定訓練：平成 30 年 2 月 5 日（月） 9：00～15：30
- ② 実動訓練：平成 30 年 2 月 8 日（木） 8：40～15：00

2. 主催

北海道、泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、蘭越町、ニセコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村（道及び 13 町村）

3. 参加機関

原子力防災に関する連絡会議参加自治体、陸上自衛隊北部方面隊、第一管区海上保安部、北海道開発局、札幌管区气象台、北海道警察、消防機関、(公社)北海道トラック協会、(一社)北海道バス協会、(一社)北海道建設業協会ほか（377 機関、3, 402 人<速報値>）

4. 訓練想定

後志地方西部を震源とする地震が発生するとともに、数年に一度の猛吹雪が発現する中、運転中の泊発電所 3 号機が何らかの故障等により冷却機能を喪失。その後、炉心が損傷し、放射性物質の放出に至る。

5. 訓練結果（主なもの）※数値はいずれも速報値

(1) 意思決定訓練

項目	主な内容
■ オフサイトセンター運営訓練	○国、道、町村等の要員が参集し、オフサイトセンターでブラインド方式による機能班活動等を実施（30 機関、201 人）
■ 災害対策本部等運営訓練	○複合災害への対応を想定し、道危機管理センターに指揮室を設置するとともに、災害対策本部員会議を開催（9 機関、79 人）

(2) 実動訓練

■ 住民避難訓練 参加人数合計 8,244 人 ・避難 552 人 ・屋内退避 7,692 人 (※) : UPZ の屋内退避及び独自訓練（仁木町、倶知安町、古平町）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>町村名</th> <th>避難者数（屋内退避者数）</th> <th>避難方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PAZ</td> <td>泊村</td> <td>158（0）</td> <td>バス 9 台、福祉車両 3 台</td> </tr> <tr> <td>共和町</td> <td>66（502）</td> <td>バス 3 台、福祉車両 1 台</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">UPZ</td> <td>岩内町</td> <td>102（446）</td> <td>バス 4 台、福祉車両 2 台、普通車両 4 台</td> </tr> <tr> <td>寿都町</td> <td>69（465）</td> <td>バス 5 台、福祉車両 1 台、普通車両 2 台</td> </tr> <tr> <td>蘭越町</td> <td>23（224）</td> <td>バス 1 台、普通車両 1 台</td> </tr> <tr> <td colspan="2">その他(※)</td> <td>134（6,055）</td> <td>バス 4 台、普通車両 1 台</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>552（7,692）</td> <td>バス 26 台、福祉車両 7 台、普通車両 8 台</td> </tr> </tbody> </table>	区分	町村名	避難者数（屋内退避者数）	避難方法	PAZ	泊村	158（0）	バス 9 台、福祉車両 3 台	共和町	66（502）	バス 3 台、福祉車両 1 台	UPZ	岩内町	102（446）	バス 4 台、福祉車両 2 台、普通車両 4 台	寿都町	69（465）	バス 5 台、福祉車両 1 台、普通車両 2 台	蘭越町	23（224）	バス 1 台、普通車両 1 台	その他(※)		134（6,055）	バス 4 台、普通車両 1 台	合計		552（7,692）	バス 26 台、福祉車両 7 台、普通車両 8 台	○地震による家屋倒壊等に伴う避難所の開設・運営（蘭越町） ○大雪で孤立した要配慮者の救助（泊村、蘭越町、岩内町） ○除雪車による住民避難等への支援（泊村、共和町）
	区分	町村名	避難者数（屋内退避者数）	避難方法																											
	PAZ	泊村	158（0）	バス 9 台、福祉車両 3 台																											
		共和町	66（502）	バス 3 台、福祉車両 1 台																											
	UPZ	岩内町	102（446）	バス 4 台、福祉車両 2 台、普通車両 4 台																											
寿都町		69（465）	バス 5 台、福祉車両 1 台、普通車両 2 台																												
蘭越町		23（224）	バス 1 台、普通車両 1 台																												
その他(※)		134（6,055）	バス 4 台、普通車両 1 台																												
合計		552（7,692）	バス 26 台、福祉車両 7 台、普通車両 8 台																												
複合災害を想定した避難	○在宅要配慮者の放射線防護施設への屋内退避（3 施設 3 人） ○避難訓練の実施（学校 3 校 166 人、福祉施設 12 施設 150 人）																														
要配慮者避難	○外国人観光客等の宿泊施設からの避難誘導（岩内町）																														
観光客避難	○30km 圏外の 2 自治体で設置・運営訓練を実施（札幌市、留寿都村）																														
一時滞在现场	○渋滞予測箇所における迂回路誘導（共和町、倶知安町）																														
道路渋滞対策	○天候回復を待つ間の PAZ での安定ヨウ素剤（模擬）の緊急戸別配布（共和町） ○安定ヨウ素剤（模擬）の緊急配布（岩内町、寿都町、蘭越町。住民 61 人） ○避難退域時検査及び簡易除染の実施（2 か所、車両 24 台、住民 53 人） ○傷病者搬送・受入訓練（岩内協会病院、北海道大学病院）																														
■ 原子力災害医療活動訓練																															

6. 今後の対応

訓練に参加した住民の方々に対するアンケート調査、防災関係機関に対する事後調査等を通じて課題等を整理し、訓練報告書を取りまとめるとともに、今後の訓練や防災対策に反映していく。